

黒田重太郎が紡いだ京都の洋画壇草創期の物語

黒田重太郎は関西洋画壇を代表する画家だが、同時代の西洋美術に通じ、フランス語も堪能だった。画家としての研鑽と同時に、芸術理論についてもよく学んで、多くの文章を書いた。後年は、絵画を教える側にもまわり、在野の教室や大学でも教鞭を執り、後進の育成に尽くした関西の洋画壇を語る上で欠かせない人物である。今回の特集展示では、そんな黒田の著作の一冊『京都画壇の黎明期』に沿って、所蔵品を展示し、京都における洋画の夜明けを堪能していただきたい。

展示は「黎明期の先覚」というパートからスタートする。田村宗立を起点とし、続く画家として、伊藤快彦、櫻井忠剛、牧野克次の作品が並ぶ。田村は、江戸時代後期に生まれ、仏画や南画を描いていた。本物そっくりに描きたいという願望を抱いており、独自で陰影法に取り組んだ。日本画とも西洋の絵画ともつかないような絵をひとりで描いていたのである。のちに油彩画の存在を知り、西洋絵画を学ぶために英語も習得した。その甲斐あって、通訳兼画家として病院に勤めることとなり、そこで解剖図の模写に励み、外国人医師らから油画の手ほどきを受けるのである。横浜で日本人画家相手に油画を教えていたワーグマンの元にも赴き、油彩画はもちろん版画についても学んで京都に戻り、画材集めに苦心しつつも本格的な洋画研究に邁進していく。田村は京都の洋画壇の先駆的な存在であった。黒田はこの時期を京都洋画の黎明期における最初の過程とし、田村が京都府立画学校（現・京都市立芸術大学）で教鞭をとった時期を第二過程と位置づけている。

田村に師事した伊藤と、櫻井、牧野は同世代だ。伊藤は、幼い頃、高橋由一の《鮭》に魅せられ、洋画を志した。彼の精緻な作風に繋がるエピソードだ。櫻井は、代々尼崎の城主である名門の出で、上京して勝海舟の付き人を経て洋画の道に入った。画家でありながらのちに尼崎市の初代市長も務めた変わり種である。牧野は、東京で洋画を学び、のちに京都高等工芸学校（現・京都工芸繊維大学）で教鞭をとった人物だ。彼らは関西美術会の発足にも関わった。そして、浅井忠の京都来住である。

浅井は、工部美術学校（現・東京藝術大学）でフォンタネージに西洋絵画を学び、明治美術会の設立に尽力するなど近代洋画の発展に貢献してきた。フランスにも留学し、バルビゾン派や印象派、アール・ヌーヴォーといった同時代の美術運動に接し、大きな影響を受ける。京都に移住したのは帰国直後である。京都高等工芸学校で教鞭をとりながら、工芸図案や水彩画などを旺盛に制作した。浅井の京都来住で、京都で洋画を志す者が増えたこともあり、それぞれの作家が開いていた画塾を統一してひとつの研究機関にしようという動きが持ち上がった。聖護院洋画研究所の設立である。そこでは、浅井を中心に、田村、伊藤、牧野に加えて都鳥英喜が指導と経営にあたった。フランス帰りの鹿子木孟郎も加わり、のちに関西美術院の創立へと繋がっていく。関西美術院は文字通り関西の洋画教育の中心地となり、梅原龍三郎や安井曾太郎、須田国太郎といった錚々たる画家たちを輩出した。病をえて急逝した浅井の京都での暮らしは5年に過ぎなかったが、洋画壇発展において果たした役割はとてつもなく大きい。まさに黎明期の京都洋画壇を照らす光だったのである。そして、その光明は次世代の画家たちが歩む道しるべとなったのである。

（当館学芸員 中山摩衣子）

コレクションルーム 夏期

特集 洋画の夜明け－黒田重太郎にならって

2025 年 6 月 20 日〔金〕－ 8 月 31 日〔日〕 本館 南回廊 1 階



令和7年度文化庁文化資源活用推進事業

※🔊：音声ガイド
※都合により、出品作品を変更することがございます。
※リスト掲載順と展示順は必ずしも一致しません。

No.	登録番号	作者	生没年	作品	制作年	形状・材質	サイズ (cm)	初出展	音声ガイド
水のかたち：現代京都の染織と漆より									
106 号室西									
1	工－351	伊藤裕司	昭5－令5	日月山水－波濤	平成5年	漆 木 蓋物	20.0 × 50.5 × 18.0cm	第32回現代工芸展	
2	工－323	服部峻昇	昭18－平30	耀貝飾箱「暁の海」	平成2年	漆 耀貝 木	22.0 × 42.5 × 20.0cm	第42回京展（京展賞受賞）	
3	工－305	水内杏平	明42－平13	波文彫漆棚	昭和35年	漆 木	72.8 × 151.7 × 44.0cm	第3回新日展	
4	工－134	皆川月華	明25－昭62	染彩「渦潮」	昭和52年	染色 絹 屏風 二曲一隻	168.0 × 185.5cm	第9回改組日展	
5	工－465	伊砂利彦	大13－平22	瀬	平成8年	型染 紙 屏風 二曲一隻	140.0 × 142.5cm	第48回京展（依囀出品）	
6	工－826	内藤英治	昭21－	波頭紋	昭和53年	藍 型染 麻布 屏風 二曲一隻	170.0 × 167.4cm	第26回全関西美術展（関展賞第3席）	
7	工－187	番浦省吾	明34－昭57	潮文の貌	昭和52年	漆 額	115.3 × 91.0cm		
「京都の美術 昨日・きょう・明日」再考－狗卷賢二の仕事（1996）									
110 号室									
8	洋－386	狗卷賢二	昭18－令5	たてに波文様の濃い赤	平成8年	油彩 キャンバス	259.1 × 193.9cm	京都の美術 昨日・きょう・明日 18 「狗卷賢二の仕事」(京都市美術館, 1996 年)	
9	洋－440	狗卷賢二	昭18－令5	空間のシルエット No.8・右から黒、パープル、ディーブグリーン	平成6年	油彩 キャンバス	53.0 × 45.5cm		
10	洋－441	狗卷賢二	昭18－令5	空間のシルエット No.1・下からセルリアン、赤、黒	平成6年	油彩 キャンバス	53.0 × 45.5cm		
11	洋－442	狗卷賢二	昭18－令5	空間のシルエット No.33・右から赤、グリーン、イエローディーブ	平成6年	油彩 キャンバス	227.3 × 181.8cm		
12	洋－443	狗卷賢二	昭18－令5	空間のシルエット・彩色上より アイボリーブラック、カドミウムレッド	平成7年	油彩 キャンバス	194.0 × 130.0cm		
13	洋－448	狗卷賢二	昭18－令5	空間のシルエット・彩色上よりセルリアンブルー、カドミウムイエローライト	平成7年	油彩 キャンバス	116.5 × 91.0cm		
14	洋－450	狗卷賢二	昭18－令5	空間のシルエット・彩色右よりカドミウムグリーン、カドミウムイエローオレンジ	平成7年	油彩 キャンバス	116.5 × 91.0cm		
15	洋－823	狗卷賢二	昭18－令5	D-3	昭和58年	油彩 キャンバス	62.0 × 46.0cm	日本現代美術展「5人の日本現代作家達」 (デュッセルドルフ市立美術館, 1983 年)	
16	洋－824	狗卷賢二	昭18－令5	D-4	昭和58年	油彩 キャンバス	66.0 × 46.5cm	日本現代美術展「5人の日本現代作家達」 (デュッセルドルフ市立美術館, 1983 年)	
17	洋－825	狗卷賢二	昭18－令5	D-5	昭和58年	油彩 キャンバス	66.0 × 51.0cm	日本現代美術展「5人の日本現代作家達」 (デュッセルドルフ市立美術館, 1983 年)	
18	洋－826	狗卷賢二	昭18－令5	作品 92-57	平成4年	油彩 キャンバス	28.5 × 20.5cm	個展 (村松画廊、東京、1992 年)	
19	洋－827	狗卷賢二	昭18－令5	無題 (ik-96-12)	平成8年	方眼紙 色鉛筆	76.0 × 106.0cm		
20	洋－828	狗卷賢二	昭18－令5	無題 (ik-96-24)	平成8年	方眼紙 墨	76.0 × 106.0cm		
21	洋－829	狗卷賢二	昭18－令5	みどりのかたち 1	平成10年	油彩 キャンバス	100.0 × 80.3cm	個展 (村松画廊、東京、1999 年)	
22	洋－830	狗卷賢二	昭18－令5	みどりのかたち 2	平成10年	油彩 キャンバス	100.0 × 80.2cm	個展 (村松画廊、東京、1999 年)	

アンケートへのご協力をお願い

本日はご来館いただき誠にありがとうございます。右記 QR コードより、アンケートへのご協力をお願い申し上げます。



No.	登録番号	作者	生没年	作品	制作年	形状・材質	サイズ (cm)	初出展	音声ガイド
23	参考出品	Ufer ! Art Documentary (撮影・編集)		《無題》再制作記録映像	令和2年	映像	5分30秒		
24	参考出品	Ufer ! Art Documentary (撮影・編集)		「昨日・きょう・明日18 菊巻賢二の仕事」記録映像 (KYOTO ART TODAY Vol.20 - 14より)	平成8年	映像	5分43秒		

新収蔵	國府 理								
109号室、天の中庭									
25	彫 - 177	國府 理	昭45 - 平26	屋根裏の庭	平成23年	鉄 砂 土 水 植物の種子 他	115.0 × 220.0 × 220.0cm	TRA: Edge of Becoming. (Palazzo Fortuny、ヴェネツィア、2011年)	
26	彫 - 176	國府 理	昭45 - 平26	電動三輪自動車	平成6 - 16年	オートバイ部品 FRP 炭 モーター バッテリー (電解水処理済)	58.0 × 117.0 × 242.0cm	個展 (アートスペース虹、京都、1994年)	
27	彫 - 178	國府 理	昭45 - 平26	「未来のいえ」ドローイング - Electric Tricycle -	平成25年	インク 紙	21.0 × 29.0cm	個展「國府理 未来のいえ」(西宮市大谷記念美術館、兵庫、2013年)	
28	彫 - 178	國府 理	昭45 - 平26	Drawings (1986-1990)	昭和61 - 平成2年	鉛筆 色鉛筆 インク 紙 (広告チラシ、わら半紙など)	スクラップブック (420 × 31.8cm、40ページ)		
29	参考出品	國府 理 / 大西和希 (撮影・編集)		KOKUFU Osamu Electric Tricycle	平成17 - 27年	映像	1分36秒		

30	参考出品	片山達貴 (撮影・編集)		《屋根裏の庭》設置記録映像	令和7	映像	11分58秒		
----	------	--------------	--	---------------	-----	----	--------	--	--

時をつなぐ鳥たち									
南広間									
31	工 - 077	^(五代) 清水六兵衛 (六和)	明8 - 昭34	錦鶏置物	昭和8年	磁器	17.0 × 15.5 × 59.0cm、10.5 × 11.5 × 32.0cm		
34	彫 - 174	宮永愛子	昭49 -	くぼみに眠る海 - 水鳥 -	令和4年	ガラス 空気 東山窯の石膏型を使用	7.0 × 6.5 × 14.0cm		
32	工 - 517	沼田一雅	明6 - 昭29	おしどり	昭和初期	陶器	14.5 × 23.0 × 16.0cm		
33	工 - 524	沼田一雅	明6 - 昭29	みみずく	昭和初期	石膏	23.0 × 10.0 × 11.5cm		
35	工 - 523	沼田一雅	明6 - 昭29	雷鳥	昭和初期	陶器	22.5 × 28.0 × 14.5cm		
36	工 - 520	沼田一雅	明6 - 昭29	鶴香炉	昭和初期	陶器	10.0 × 26.0 × 12.0cm		
37	工 - 533	船津英治	明44 - 昭59	鵜	昭和初期頃 (原型)	陶器	23.5 × 29.5 × 18.0cm		
38	工 - 027	津田信夫	明8 - 昭21	眠処成毯 (水鳥置物)	昭和15年	陶器 白釉	16.0 × 13.0 × 27.0cm	大阪工芸振興展	

特集展示：洋画の夜明け - 黒田重太郎にならって									
黎明期の先覚：田村宗立、櫻井忠剛、伊藤快彦、牧野克次									
108号室									
39	洋 - 745	田村宗立	弘化3 - 大7	官女弾琴図	明治30年頃	油彩 キャンバス額	56.7 × 88.5cm	第3回新古典美術品展	 52
40	洋 - 747	田村宗立	弘化3 - 大7	富士図	明治13-22年頃	油彩 キャンバス額	50.7 × 76.4cm		
41	日 - 794	田村宗立	弘化3 - 大7	観音像	不詳	絹本着色 軸	115.8 × 41.2cm		
42	洋 - 549	櫻井忠剛	慶応3 - 昭9	能 (安宅)	明治末	油彩 漆板 額	39.0 × 136.4cm		
43	洋 - 551	櫻井忠剛	慶応3 - 昭9	梅花図	明治期	油彩 板 額	22.7 × 35.3cm		
44	洋 - 058	伊藤快彦	慶応3 - 昭17	少女像	明治24年頃	油彩 板 額 (楕円)	24.0 × 19.0cm		
45	洋 - 481	伊藤快彦	慶応3 - 昭17	鴨川真景図	明治30年	油彩額 キャンバス	32.0 × 135.0cm		 166
46	洋 - 123	伊藤快彦	慶応3 - 昭17	大奥の女中	明治41年	油彩額 キャンバス	78.0 × 54.5cm	第2回文展	 56
47	洋 - 777	伊藤快彦	慶応3 - 昭17	[幼き漁師]	明治23年	油彩額 キャンバス	88.5 × 65.8cm		
48	洋 - 223	牧野克次	元治1 - 昭17	落葉	明治36年	油彩額 キャンバス	90.8 × 151.8cm	第5回内国勲業博覧会 (大阪)	 54

No.	登録番号	作者	生没年	作品	制作年	形状・材質	サイズ (cm)	初出展	音声ガイド
浅井忠の京都来住									
107号室									
49	洋 - 049	浅井 忠	安政3 - 明40	グレーの柳	明治34年	油彩額 キャンバス	59.5 × 79.5cm	滯欧作	 53
50	洋 - 244	浅井 忠	安政3 - 明40	若王子風景	不詳	水彩 紙 額	29.0 × 23.0cm		
51	洋 - 245	浅井 忠	安政3 - 明40	聖護院の庭	明治36年	水彩 紙 額	34.4 × 24.7cm		
52	洋 - 246	浅井 忠	安政3 - 明40	漁村の少女	明治30年頃	油彩額 キャンバス	45.3 × 33.5cm		

浅井忠周囲の画家たちと関西美術院									
107号室									
53	洋 - 017	鹿子木孟郎	明7 - 昭16	新夫人	明治42年	油彩額 キャンバス	94.0 × 90.0cm	第3回文展	 57
54	洋 - 018	鹿子木孟郎	明7 - 昭16	某未亡人の肖像	大正1年	油彩額 キャンバス	93.0 × 62.0cm	第6回文展	
55	洋 - 799	河合新蔵	慶応3 - 昭11	上賀茂	明治後期 - 大正初期	油彩額 キャンバス	92.0 × 53.5cm		
56	洋 - 129	都島英喜	明6 - 昭18	籠屋	明治42年	油彩額 キャンバス	79.0 × 58.0cm	第8回関西美術会展	 58
57	洋 - 141	都島英喜	明6 - 昭18	モンチニーの黄昏	大正10年	油彩額 キャンバス	62.5 × 79.5cm	滯欧作	
58	洋 - 092	太田喜二郎	明16 - 昭26	秋の庭	大正4年	油彩額 キャンバス	99.0 × 87.0cm		 146
59	洋 - 093	太田喜二郎	明16 - 昭26	夏の昼	大正8年	油彩額 キャンバス	180.0 × 241.0cm	第1回帝展	 147
60	洋 - 217	中林 僊	明12 - 昭12	樹影	明治44年	水彩 紙 額	47.0 × 64.0cm		
61	洋 - 204	加藤源之助	明13 - 昭21	秋晴	明治39年	水彩 紙 額	27.9 × 38.8cm		
62	洋 - 513	新井謹也	明17 - 昭41	アカシアの花	昭和14年	油彩 板 額	26.5 × 20.4cm		

63	洋 - 128	澤部清五郎	明17 - 昭39	パリの公園	大正2年	油彩額 キャンバス	39.0 × 49.0cm	滯欧作	 165
64	洋 - 127	澤部清五郎	明17 - 昭39	絵をかく少女	明治45年	油彩額 キャンバス	51.5 × 43.5cm	滯欧作	
65	洋 - 746	田中善之助	明22 - 昭21	南国早春	昭和9年	油彩額 キャンバス	80.5 × 117.0cm	大礼記念京都美術館展	 197
66	洋 - 097	黒田重太郎	明20 - 昭45	枯草運ぶ女	大正6年	油彩額 キャンバス	49.5 × 60.0cm	第6回二科展 (滯欧作)	
67	洋 - 166	黒田重太郎	明20 - 昭45	裸婦習作	大正7年	油彩額 キャンバス	48.5 × 59.0cm	滯欧作	
68	洋 - 067	安井曾太郎	明21 - 昭30	自画像	明治39年	油彩額 キャンバス	47.5 × 35.0cm		
69	洋 - 068	安井曾太郎	明21 - 昭30	栗田口風景	明治38年	油彩額 キャンバス	31.0 × 43.5cm		 55
70	洋 - 168	鹿子木孟郎	明7 - 昭16	海辺	昭和5年	油彩額 (円) キャンバス	径58.0cm		
71	洋 - 169	寺松国太郎	明9 - 昭18	天使	昭和5年	油彩額 (円) キャンバス	径58.0cm		

夏の装い									
106号室東									
72	日 - 608	北野恒富	明13 - 昭22	いとさんこいさん	昭和11年	紙本着色 二曲一双 屏風	各159.5 × 172.8 cm	改組第1回帝展	 41
73	日 - 075	井上通世	明36 - 不詳	初夏	昭和15年	紙本着色 六曲一隻 屏風	168.0 × 369.0cm	紀元2600年奉祝展	
74	日 - 146	菊池契月	明12 - 昭30	友禪の少女	昭和8年	絹本着色 額	152.0 × 88.0cm	第9回菊池塾展	
75	日 - 1026	丹羽阿樹子	明33 - 昭63	花市	昭和18年	絹本着色 額	188.0 × 177.0cm	第8回市展	
76	日 - 1118	梶原緋佐子	明29 - 昭63	トランプ	昭和55年	紙本着色 額	133.0 × 87.0cm	改組第12回日展	
77	日 - 870	不二木阿古	明29 - 昭18	夏の日	昭和14年	絹本着色 額	208.0 × 184.0cm	第3回新文展	